



第二十二期自衛官候補生入隊式に参列



埼玉地方協力本部長（山下一空佐）は、令和二年十二月一日（火）航空自衛隊熊谷基地において行われた、第二十二期自衛官候補生入隊式に参列した。

現下の新型コロナウイルスの急増に鑑み、ご家族の式典への参加は見送られたものの、全国各地から航空自衛官を志集った約一四〇名（内、埼玉地本から三名）の隊員が服務の宣誓等を行い、自衛官としてのスタートを切った。

式典に参列した埼玉地方協力本部長の山下一等空佐は、「コロナ禍で各種行事の参列者を極力縮減している状況の中、今回初めての参加となった。若い新隊員の皆さんのきびきびとした動作を拝見し、今回残念ながら参加できなかったご両親に代わり、彼らの今後の活躍を心の中で祈念した。」と思いを語った。

埼玉地本は、「今後も入隊者やその家族との繋がりを大切にするともに、これからの自衛隊を担う若者を一人でも多く埼玉地本から送り出すべく、引き続き募集活動に邁進していく。」としている。

埼玉地本、KTCおおぞら高等学院で説明会を開催



埼玉地方協力本部（本部長 山下一空佐）は、11月18日（水）、KTCおおぞら高等学院川越キャンパスにおいて、防衛省・自衛隊に関する就職説明会を実施した。この説明会は、埼玉地本が学院の授業計画担当より「なりたいたい大人になるための授業」をしてほしいと依頼を受けて実現したもので、1年生5名、2年生6名、3年生3名の計14名のほか、教諭4名も参加した。

同地本入間地域事務所長菅原一等空尉以下3名から、自衛隊の任務、職種について説明を行ったほか、東日本大震災の活動についてのDVD上映、個人装備品の着用体験、毛布を使った患者搬送要領等を行い、職業としての自衛官を身近に体験してもらう機会となった。

同地域事務所では今後も高校、専門学校、大学に赴き、職業としての自衛官を体験してもらう機会を創出していきたいとしている。

防衛大臣及び陸上幕僚長感謝状を伝達

埼玉地方協力本部（本部長 山下真司一等空佐）は令和二年十二月二日（水）、予備自衛官等の雇用にご協力いただいている「日動警備埼玉株式会社」に対して防衛大臣感謝状を、退職自衛官の再就職にご協力いただいている「株式会社埼玉りそな銀行」に陸上幕僚長感謝状を、それぞれ防衛大臣、陸上幕僚長に代わり伝達・贈呈した。

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、防衛大臣感謝状及び陸上幕僚長感謝状のいずれも贈呈式が中止となったことから、山下本部長が直接訪問しての贈呈となった。

防衛大臣から感謝状を贈呈された「日動警備埼玉株式会社」は平成二十三年の会社設立以来これまで常に予備自衛官等を雇用していただき、現在も予備自衛官二名、即応予備自衛官一名が在籍中である。また、陸上幕僚長から感謝状を贈呈された「株式会社埼玉りそな銀行」は過去十年間に定年退職自衛官十七名を採用いただいており、山下本部長は両社からの防衛省・自衛隊への格別のご支援に対して改めて謝辞を申し上げた。

埼玉地本では引き続き、退職自衛官採用の有益性の広報と予備自衛官等制度の理解促進を図り、防衛力を支える人的基盤の更なる強化に努めてまいります。

